

2025年4月期 第1四半期 決算説明資料

2024年9月10日

株式会社グリーンエナジー&カンパニー



証券コード1436

2

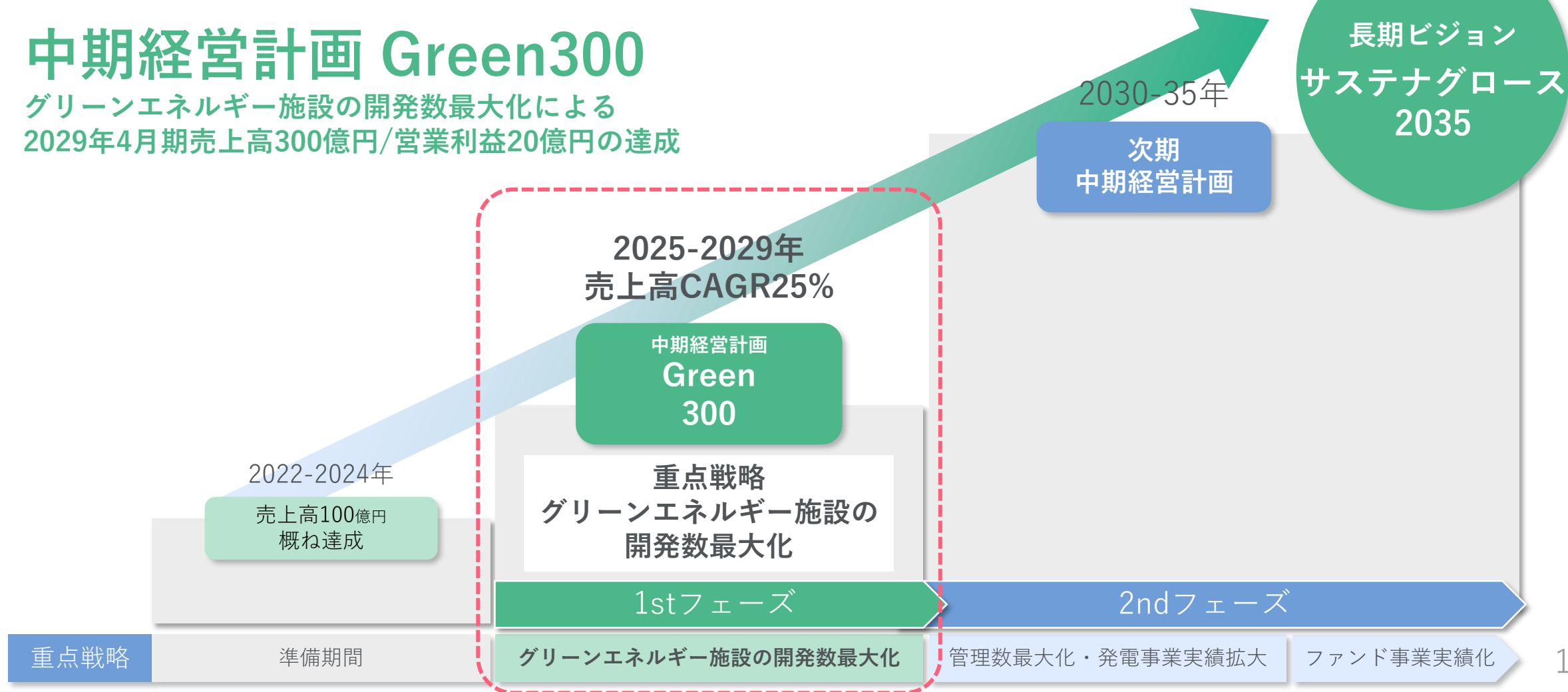
中期経営計画 Green300 (25年4月期- 29年4月期)

中期経営計画 Green300（25年4月期- 29年4月期）

- 株式会社Green Energy & Companyとして新たに、長期ビジョン サステナグロース2035の1stフェーズとして、5か年計画の中期経営計画Green300を策定します。

中期経営計画 Green300

グリーンエネルギー施設の開発数最大化による
2029年4月期売上高300億円/営業利益20億円の達成



開発数最大化の戦略

- 2024年4月期までの準備期間を経て本中期経営計画においてグリーンエネルギー施設の開発数を最大化します。

太陽光発電施設

FIT発電所EPC※



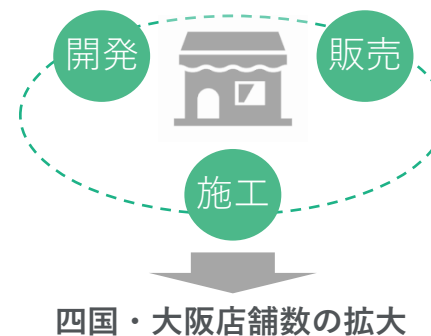
全国展開実績

Non-FIT発電所EPC

関東エリア高圧発電所実績化
低圧発電所開発体制構築

ネットゼロ・エネルギー・ハウス

店舗ユニット



これまでの取り組み

今後の戦略

低圧・高圧両面での
開発進行本格化

エリア内ユニット数拡大
(ドミナント戦略によるシェア拡大)

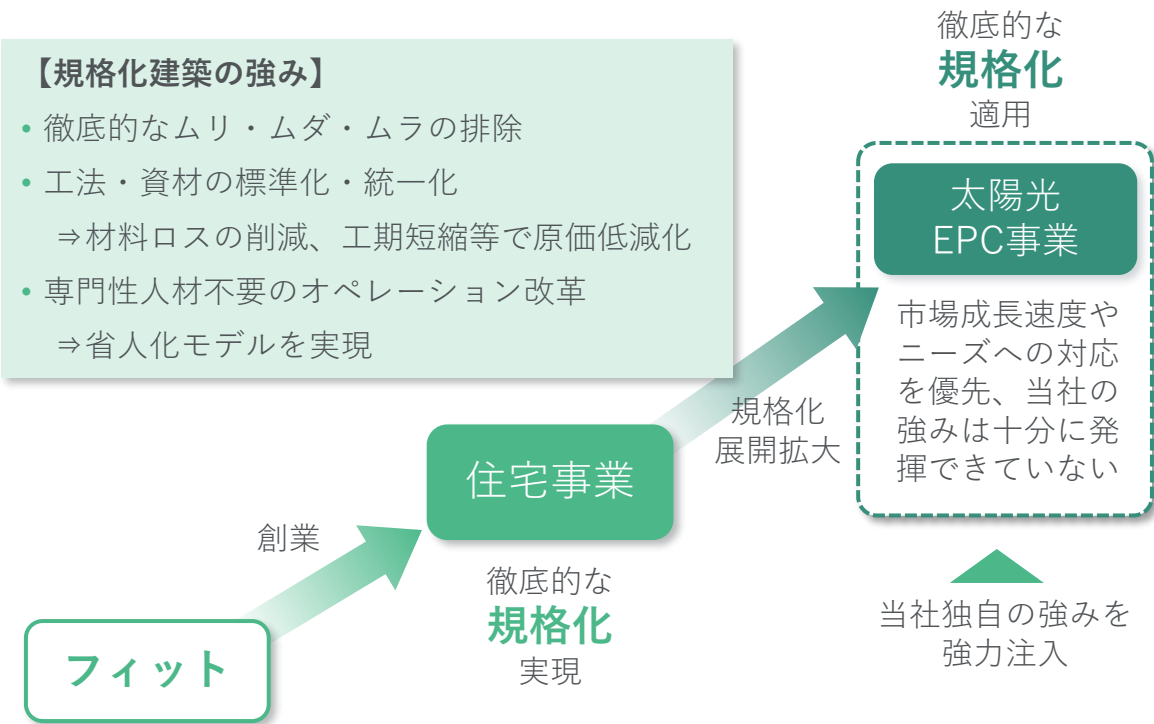
※ EPCはEngineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（建設）の事業の事をいいます

太陽光発電施設の戦略

- Non-FIT発電所 低圧・高圧両面での開発及び系統用蓄電池へのチャレンジに注力
- ネットゼロエネルギーハウス事業で培った当社の強みを太陽光発電施設にも徹底注入

当社の強み

祖業であるネットゼロエネルギーハウス事業で培ったGreen Energy & Companyの強み（※次ページご参照）である土地の目利き力や規格化、ローコストオペレーションを太陽光発電施設の開発にも徹底注入し、他社にはない開發生産性を目指す。



Green300における取り組み

低圧・高圧両面での開発進行をGreen Energy & Companyの強みである「規格化」をテコに開発・販売のスピードを加速化

重点戦略

	低圧	高圧
Non-FIT	開発体制の構築	関東での実績化
FIT	全国展開の実績 積み上げ	全国展開の実績 積み上げ

エリア戦略

- ①関東
- ②四国
- ③中部（静岡・愛知・三重・岐阜・長野・山梨）

投資計画

	人的投資	設備投資	DX投資	資本政策
Non-FIT	◎	○	◎	◎
FIT	○	△	△	△

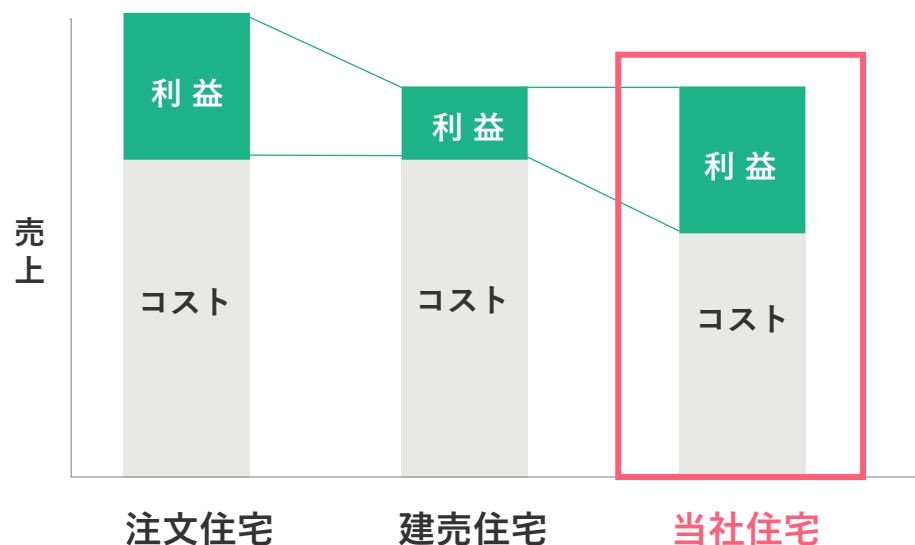
※ ◎は重点投資、○は積極投資、△はニュートラルを意味します

ネットゼロ・エネルギー・ハウスの戦略

- Green300において、規格化と目利き力を生かしたグリーン・エナジー・ライフの強みを活かし、ドミナント戦略に基づく既存エリア内における店舗ユニット数の拡大と事業エリアの拡大に取り組みます。

当社の強み

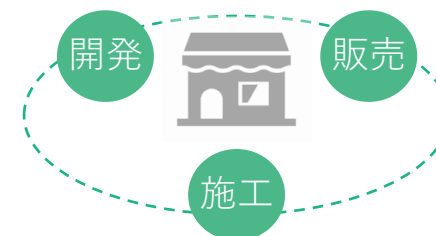
独自の土地仕入れの目利き力を持つとともに、商品やサービスを絞り込み、業界の常識にとらわれない単純な「仕組み」をつくることでローコストオペレーションを実現。かかるコストが他社よりも継続して小さくできる仕組みにより、良い商品を低価格で提供可能



Green300における取り組み

ドミナント戦略に基づく、エリア内におけるユニット数の拡大及び事業エリアの拡大

重点戦略①：店舗ユニット数の拡大



2024年7月現在直営店5店舗

重点戦略②：事業エリアの拡大

- ・ 継続的に四国・大阪店舗数の拡大
- ・ 全国展開は、フランチャイズまたは事業買収により実施

ストックビジネス戦略（O&M）

- フロービジネスにおけるグリーンエネルギー施設の開発数最大化によりストックビジネスのコアであるO&M事業における管理数の最大化を図ります。

オーガニックグロース

Green300におけるコア戦略である
フロービジネスにおける
開発数の最大化

太陽光発電施設

ネットゼロ・
エネルギー・ハウス

インオーガニックグロース

自社開発物件以外の管理物件を
M&Aや資本業務提携を経て獲得

M&A

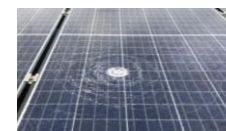
資本業務提携

O&M事業

フロービジネスにおけるオーガニックグロースと
インオーガニックグロースにより
管理数の最大化を図る



太陽光発電のオペレーションと
メンテナンス、自社修繕、費用や発電収支への
補償のスキーム等ワンストップでご提供



管理・修繕



パネル洗浄



除草対応

本中期経営計画Green300でのキャピタル・アロケーション

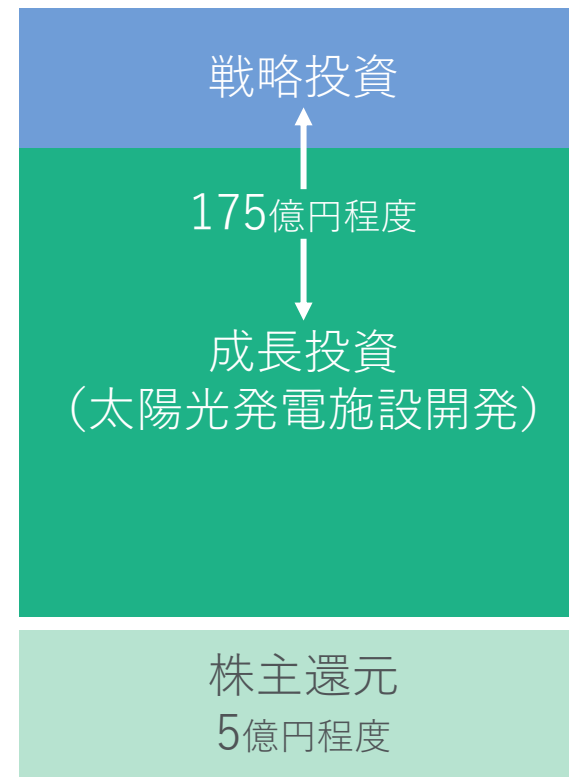
- 本中期経営計画Green300（5か年）においてはグリーンエネルギー施設開発数の最大化をテーマに投資拡充に取り組みます。

キャッシュイン

- 売上高の拡大と利益率水準の維持を通じた営業CFの拡大
- DX化を通じたオペレーションコストの適正化による利益率の向上
- バランスシートの健全性と最適資本構成や資本コストを意識



キャッシュアウト



- インオーガニック投資
- M&A、資本業務提携
- 中計における重点投資
- 開発施設数最大化
- 開発棟数最大化
- 発電事業への参入
- 長期安定的な株主還元
- 配当性向15%以上
- ファン株主創造に向けた株主優待

中期経営計画 Green300におけるKPI①

- 中期経営計画Green300では売上高300億円、営業利益20億円を目標とします。

	24年4月期
売上高	9,676百万円
営業利益	512百万円

グリーンエネルギー施設開発数	494件
----------------	------

中期経営計画 Green300 (25年4月期-29年4月期)

30,000百万円

2,000百万円

1,500件

中期経営計画 Green300におけるKPI②

- Green300においてROE12%程度、自己資本比率30%前後の水準、配当性向15%程度を目線にします。

効率性

ROE

12% 程度

安定性

自己資本比率

30% 程度

株主還元

配当性向

配当性向15%程度をめどに今後、長期的に安定した配当を志向

